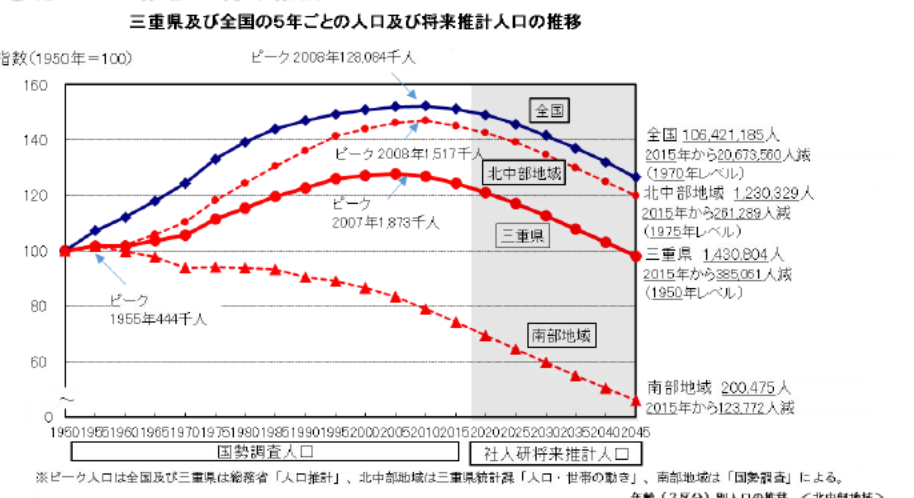
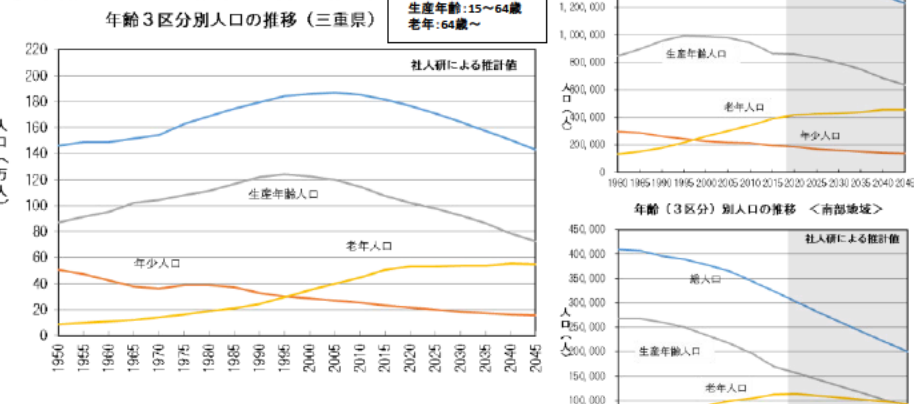


1 人口動態に関する参考データ等

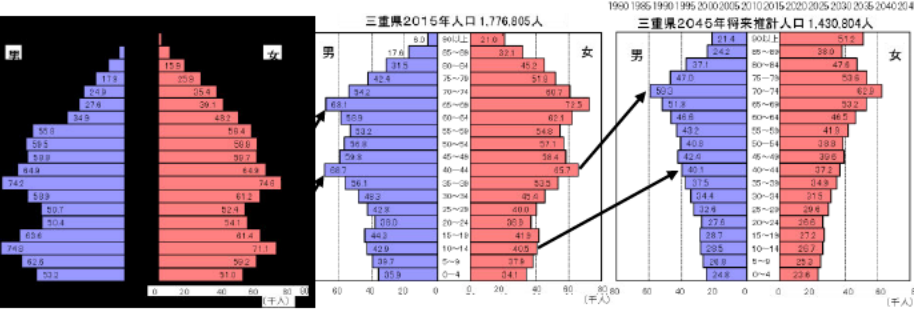
① 総人口の推移と将来推計



② 年齢別人口の推移と将来推計



③ 三重県の人口ピラミッド (30年毎)



④ 三重県における転出超過数 (転出数-転入数)

転入超過数	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
総数	2,839	4,218	3,597	4,063	4,225
0~4歳	-191	-64	-104	117	-58
5~9歳	31	52	43	71	180
10~14歳	91	61	96	71	111
年少人口計	-69	49	35	259	233
15~19歳	690	774	904	977	952
20~24歳	1,434	1,702	1,648	1,699	1,543
25~29歳	536	868	609	711	692
若者計	2,660	3,344	3,161	3,387	3,187
30~34歳	116	263	116	186	243
35~39歳	29	246	93	5	155
40~44歳	-86	-27	105	124	55
45~49歳	48	150	-22	95	120
50~54歳	97	127	41	37	77
55~59歳	-3	-40	16	-51	-13
60~64歳	-41	-33	43	-51	9
30~64歳人口	160	686	392	345	646
生産年齢人口	2,820	4,030	3,553	3,732	3,833
65~69歳	-47	-49	-47	-17	-36
70~74歳	9	24	-34	25	26
75~79歳	39	43	20	43	32
80~84歳	61	44	29	-5	38
85~89歳	16	50	32	8	67
90歳以上	10	27	9	18	32
高齢者人口	88	139	9	72	159

※生産年齢人口: 15~64歳の合計

・15~29歳の若者の転出超過は、2017年の3,387人から200人減少。

・転出超過数に占める若者の構成比率は2017年の83.4%から2018年は75.4%となり、8.0ポイント下降。

・一方で、他の年代で転出超過が増加し、転出超過は前年より増加。

⑤ 男女別転出超過数 (15~49歳)

性別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
男性 転出者	13,070	14,052	13,259	13,191	13,831
女性 転出者	9,363	9,944	9,540	9,909	10,012
15~19歳	1,259	1,246	1,282	1,298	1,284
20~24歳	3,342	3,553	3,388	3,504	3,758
25~29歳	2,848	3,072	2,951	2,868	3,043
30~34歳	2,017	2,176	2,009	2,029	2,096
35~39歳	1,522	1,651	1,448	1,334	1,421
40~44歳	1,227	1,322	1,282	1,221	1,203
45~49歳	855	1,032	899	937	1,026
転入者	11,877	12,130	11,746	11,772	12,518
15~19歳	839	823	689	701	683
20~24歳	2,738	2,797	2,829	3,022	3,368
25~29歳	2,591	2,672	2,615	2,594	2,871
30~34歳	1,983	2,008	1,965	1,972	2,005
35~39歳	1,560	1,508	1,429	1,370	1,360
40~44歳	1,291	1,370	1,243	1,201	1,221
45~49歳	875	952	976	912	1,010
転出超過数	1,193	1,922	1,513	1,419	1,313
15~19歳	420	423	593	597	601
20~24歳	604	756	559	482	390
25~29歳	257	400	336	274	172
30~34歳	34	168	44	57	91
35~39歳	-38	143	19	-36	61
40~44歳	-64	-48	39	20	-18
45~49歳	-20	80	-77	25	16
女性 転入者	7,789	7,890	7,600	7,531	7,565
15~19歳	467	483	457	443	446
20~24歳	1,641	1,686	1,624	1,717	1,907
25~29歳	2,017	2,017	1,977	1,925	1,906
30~34歳	1,517	1,562	1,487	1,445	1,397
35~39歳	1,041	1,018	930	950	873
40~44歳	720	702	674	618	613
45~49歳	386	422	451	433	423
転出超過数	1,574	2,054	1,940	2,376	2,447
15~19歳	270	351	311	380	351
20~24歳	830	946	1,089	1,217	1,153
25~29歳	279	468	273	437	520
30~34歳	82	95	72	129	152
35~39歳	67	103	74	41	94
40~44歳	-22	21	66	104	73
45~49歳	68	70	55	70	104

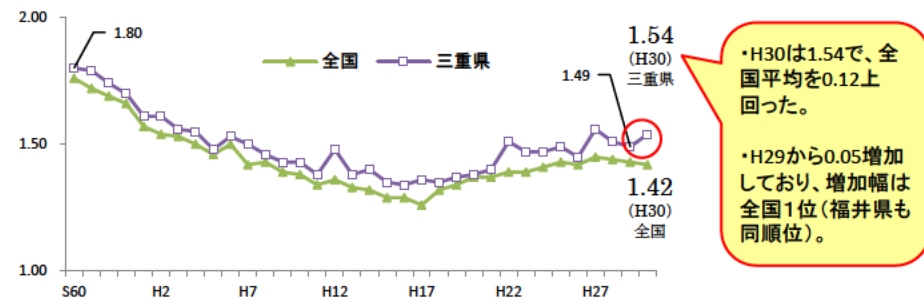
・転出者は男性の方が多いが、転出超過数では女性の方が多い。

・男性では、2014、2015年は20~24歳が転出超過数が最も多いが、2016年以降は15~19歳が最も多くなっている。

・女性では、20~24歳の転出超過数が最も多い。

2 出生率、子どもに関する参考データ等

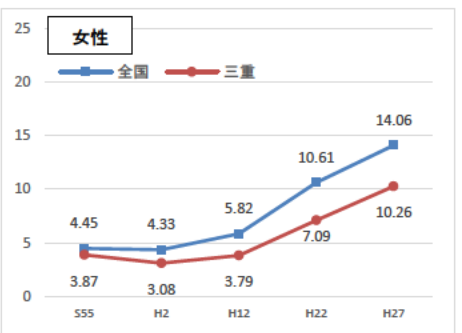
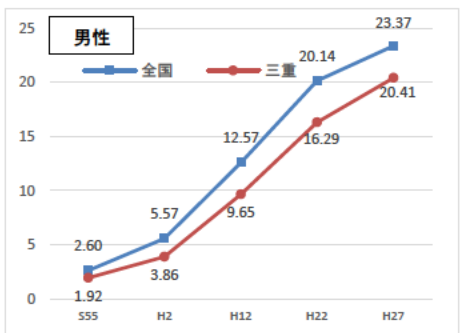
①合計特殊出生率の推移【人口動態統計等により県が作成】



・H30は1.54で、全国平均を0.12上回った。
 ・H29から0.05増加しており、増加幅は全国1位(福井県も同順位)。

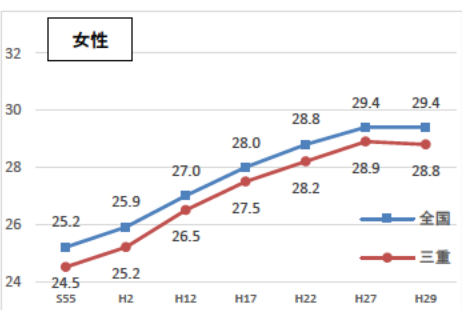
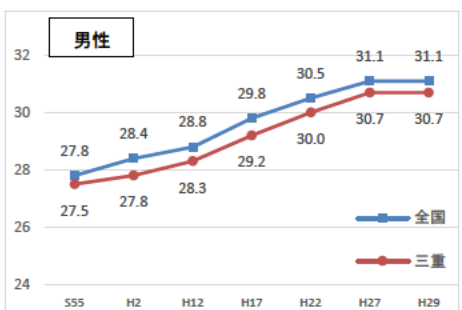
②50歳時未婚率の推移【国勢調査】

・三重県の50歳時未婚率は、男女とも全国より低い水準であるものの上昇傾向となっている。



③平均初婚年齢の推移【人口動態統計】

・平均初婚年齢は過去30年以上にわたり上昇傾向にあったが、ここ数年は男女とも横ばい状態が続いている。



④結婚に対する考え方(未婚の方)【みえ県民意識調査】

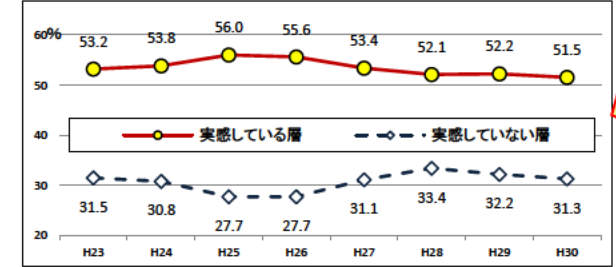
・未婚の方の結婚に対する考え方で「いずれ結婚するつもり」はH25以降減少。
 ・前回との比較において、年齢別では30歳代が(-12.7)、職業別ではパート・バイト・派遣が(-15.7)と最も大きくポイント減少した。

年	いずれ結婚するつもり	結婚するつもりはない	不明
H30	45.9	50.3	3.8
H29	58.1	38.5	3.3
H28	59.4	33.2	7.4
H27	66.2	30.9	2.8
H25	70.2	27.0	2.8

⑤理想の子どもの数の推移【みえ県民意識調査】

年	ほしくない	1人	2人	3人	4人	5人以上	平均人数
H30	4.6	31.1	48.6	38.6	3.3	1.9	2.4人
H29	2.5	3.0	46.8	42.1	3.8	1.8	2.5人
H28	3.2	3.0	46.7	42.6	3.2	1.8	2.4人
H27	2.9	3.3	46.0	43.1	3.1	1.5	2.5人
H25	2.1	2.8	47.0	43.5	3.4	1.2	2.5人
H24	2.4	3.3	44.4	44.7	3.5	1.7	2.5人

⑥地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合【みえ県民意識調査】



・H30の実感層を年齢別に見ると、70歳以上(56.8)、18~20歳代(54.7)の上位2位。
 ・30歳代、40歳代の子育て世代の数値が、50歳代、60歳代より高くなっている。

(参考)「今の子どもたちの特徴として『元気がある』と感じる」について

年	はい	いいえ	無回答
23年度	64.8	32.0	3.2
27年度	68.8	29.2	1.9
30年度	69.7	27.0	3.3

・子ども条例に基づく調査では、「元気がある」と感じる県民の割合が増加傾向。

3 進学や就職に関する参考データ等

①三重県出身者の主な大学進学者数（都道府県別）

都道府県	S61年度 進学者数 (n=5868)	H8年度 進学者数 (n=8576)	H18年度 進学者数 (n=8549)	H28年度 進学者数 (n=8299)	H30年度 進学者数 (n=7877)
1.愛知県	1,747 29.8%	2,485 29.0%	3,006 35.1%	3,207 38.6%	2,973 37.7%
2.三重県	1,103 18.8%	1,470 17.1%	1,592 18.6%	1,704 20.5%	1,720 21.8%
3.大阪府	741 12.6%	918 10.7%	863 10.1%	664 8.0%	577 7.3%
4.大阪府	464 7.9%	677 7.9%	659 7.7%	523 6.3%	475 6.0%
5.京都府	419 7.1%	631 7.4%	521 6.1%	498 6.0%	469 6.0%

出典：文部科学省「学校基本調査」を基に三重県作成

・三重県出身者の進学先上位5都道府県は変わらないが、県内への進学者は増加し、東京都への進学者は減少している。

④三重県の高等学校卒業者の県外への就職状況

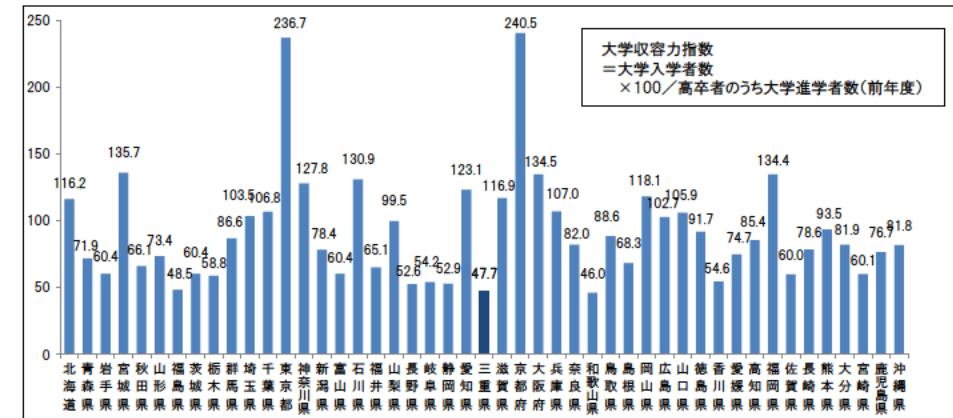
出典：文部科学省「学校基本調査」を基に三重県作成

	H26	H27	H28	H29	H30
卒業生数(A)	人 15,798	15,988	15,952	16,212	15,695
就職者数(B)	人 4,111	4,206	4,236	4,347	4,291
(B)/(A)	% 26.0%	26.3%	26.6%	26.8%	27.3%
県外への就職者数(C)	人 473	541	564	605	601
(C)/(B)	% 11.5%	12.9%	13.3%	13.9%	14.1%
就職先県					
東京都	人 28	37	34	31	32
愛知県	人 294	354	383	443	416
大阪府	人 55	60	48	41	49
その他道府県	人 96	90	99	90	104
卒業生数(前年比)	% -3.8%	1.2%	-0.2%	1.6%	-3.2%
就職者数(前年比)	% -0.7%	2.3%	0.7%	2.6%	-1.3%
県外への就職者数(前年比)	% -3.5%	14.4%	4.3%	7.3%	-0.7%

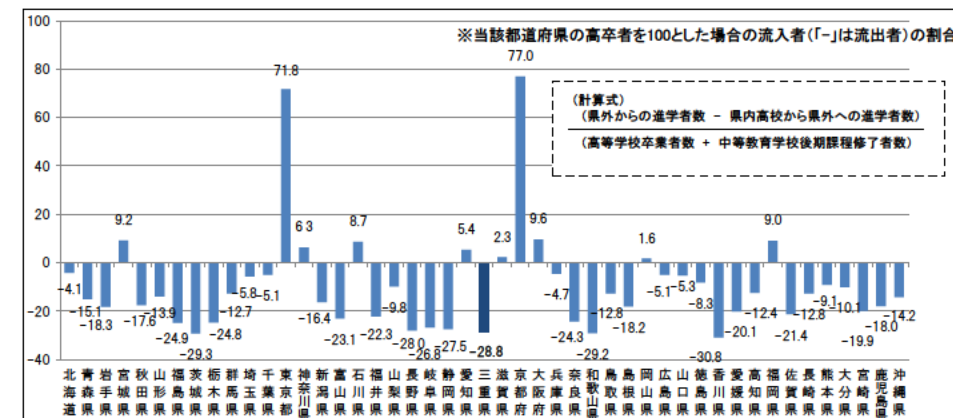
※就職先県は、各年5月1日現在の就職先事業所の所在地ベース

・県内の高等学校卒業者の愛知県への就職率も増加傾向である。県外への就職先のうち、愛知県が約69%を占め、大阪府約8.2%、東京都約5.3%となっている。

②都道府県別大学収容力指数（平成30年度）



③大学進学時の都道府県別流入・流出率（平成30年度）



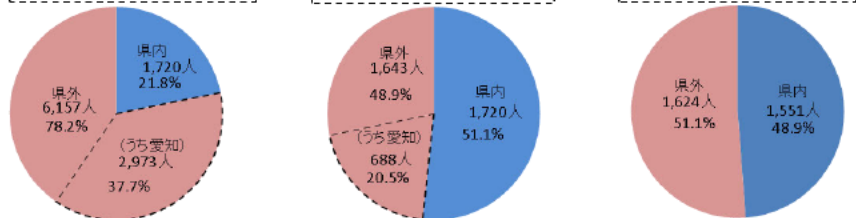
出典：文部科学省「学校基本調査」を基に三重県作成

⑤三重県における大学への進学状況及び大学卒業生の就職状況

平成30年4月に大学に進学した県内高校卒業生のうち県内大学に進学した者の割合は21.8%(確定値)

平成10年4月に県内大学に進学した学生のうち県内高校出身者の割合は51.1%(確定値)

平成30年3月に県内高等教育機関を卒業した学生のうち県内企業に就職した学生の割合は48.9%



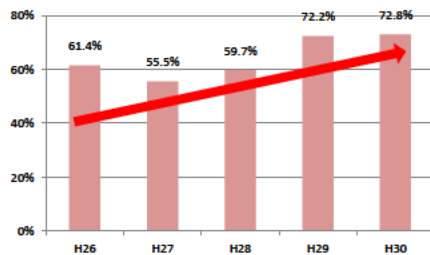
出典：文部科学省「平成30年度学校基本調査」

出典：三重県作成

⑥学生のインターシップ参加率（全国）

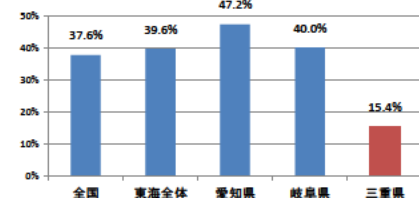
学生のインターンシップ参加率

出典：2018年度マイナビ大学生インターンシップ調査



企業のインターンシップ実施率

出典：2018年卒マイナビ企業採用活動調査



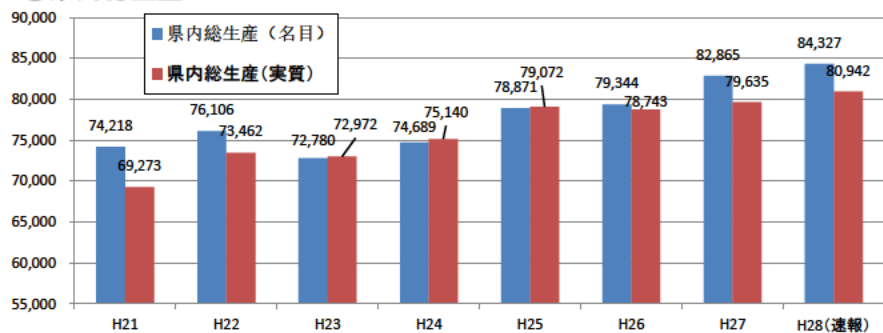
・学生のインターンシップ参加率が全国的に増加傾向にある中、県内での実施率は低い。

(参考) 就職支援協定の締結大学(17校)

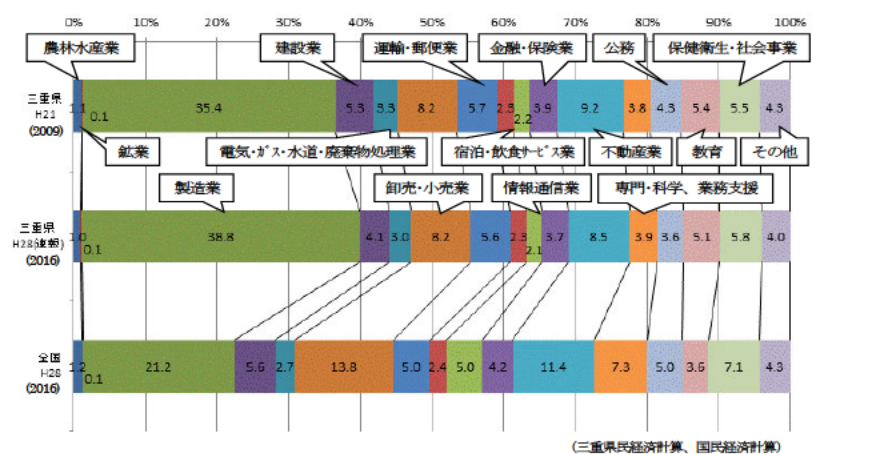
- ・立命館大学(H28.2)・近畿大学(H28.3)・龍谷大学(H28.3)・同志社大学(H28.8)・関西大学(H28.8)
- ・愛知学院大学(H28.11)・中部大学(H28.11)・愛知大学(H29.2)・愛知工業大学(H29.11)
- ・金城学院大学(H29.11)・至学館大学(H30.2)・京都女子大学(H30.3)・関西学院大学(H30.11)
- ・名古屋学院大学(H30.12)・京都産業大学(H31.2)・立命館アジア太平洋大学(H31.2)・京都橋大学(H31.2)

4 県内産業に関する参考データ等

① 県内総生産



② 県内総生産の経済活動別構成比

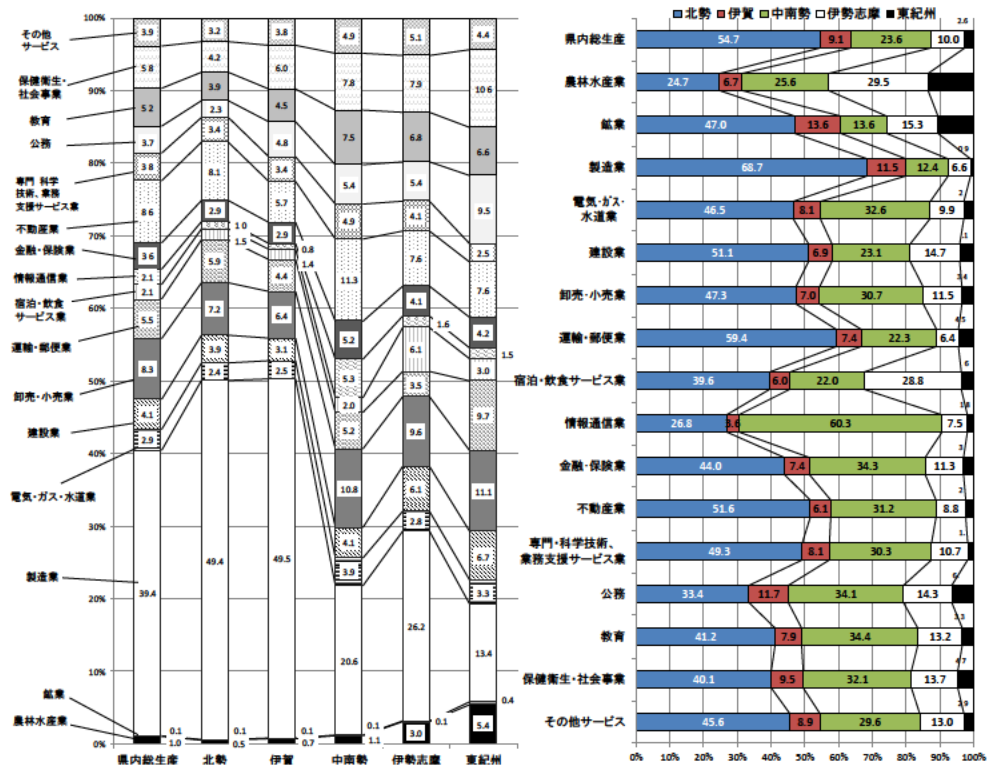


③ 産業大分類事業所数及び従業者数

出典：H28経済センサスより（公務、事業内容等不詳を除く）

産業大分類	事業所数		従業者数	
	事業所数	構成比	従業者数	構成比
A 農業、林業	545	0.7%	6,169	0.8%
B 漁業	124	0.2%	1,151	0.1%
C 鉱業、採石業、砂利採取業	39	0.1%	390	0.0%
D 建設業	7,884	10.2%	46,690	5.8%
E 製造業	7,615	9.9%	207,599	25.9%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	106	0.1%	3,198	0.4%
G 情報通信業	432	0.6%	5,148	0.6%
H 運輸業、郵便業	1,915	2.5%	43,542	5.4%
I 卸売業、小売業	19,577	25.4%	146,316	18.3%
J 金融業、保険業	1,311	1.7%	18,073	2.3%
K 不動産業、物品賃貸業	3,801	4.9%	13,292	1.7%
L 学術研究、専門・技術サービス業	2,631	3.4%	15,960	2.0%
M 宿泊業、飲食サービス業	9,293	12.0%	74,466	9.3%
N 生活関連サービス業、娯楽業	6,846	8.9%	37,096	4.6%
O 教育、学習支援業	2,494	3.2%	16,954	2.1%
P 医療、福祉	5,647	7.3%	98,616	12.3%
Q 複合サービス事業	691	0.9%	8,304	1.0%
R サービス業(他に分類されないもの)	6,217	8.1%	58,166	7.3%
A~R 全産業	77,168	100.0%	801,130	100.0%

④ 地域別・産業構成比、産業別・地域構成比



(地域別構成比)
 ・北勢地域が54.7%と最も多く、次いで中南勢地域の23.6%、伊勢志摩地域の10.0%、伊賀地域の9.1%、東紀州地域の2.6%の順となっている。

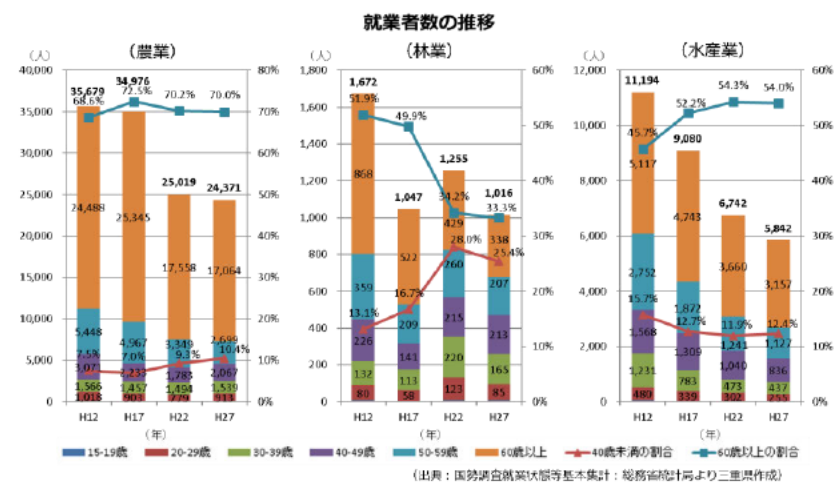
(地域別・産業構成比(左側))
 ・県内総生産の構成比と比較すると、北勢・伊賀地域は総生産に占める製造業の割合が高く、中南勢・伊勢志摩・東紀州地域はサービス産業の割合が高くなっている。
 地域別の特徴として、中南勢地域では不動産業、情報通信業、伊勢志摩地域では宿泊・飲食サービス業、東紀州地域では保健衛生・社会事業、運輸・郵便業の割合が高くなっている。

(産業別・地域構成比(右側))
 ・県内総生産の構成比と比較すると、農林水産業は伊勢志摩・東紀州地域、製造業は北勢地域、宿泊・飲食サービス業は伊勢志摩地域、情報通信業及び保健衛生・社会事業は中南勢地域の割合が高くなっている。

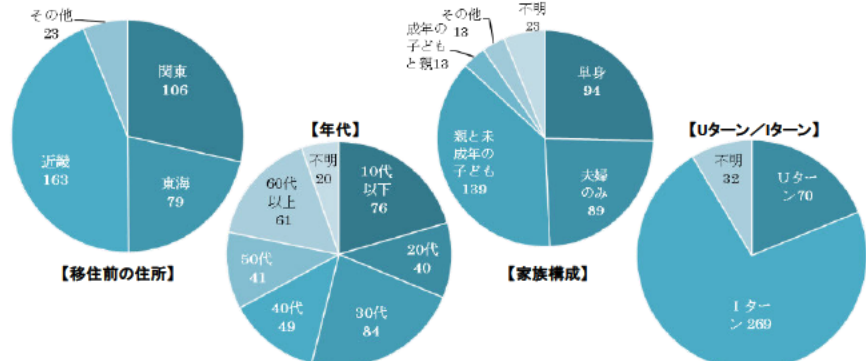
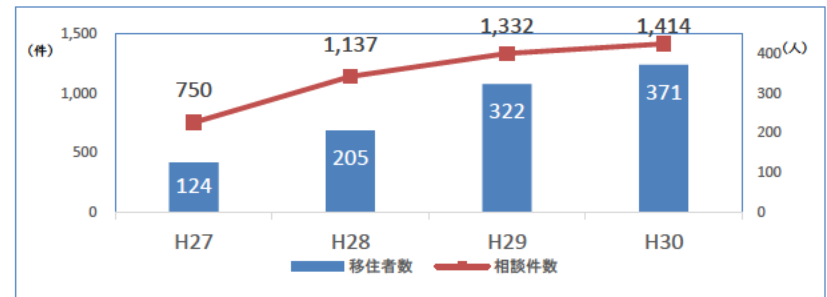
5 県内産業に関する参考データ等(続き)

6 移住、交流人口に関するデータ等

⑤ 農林水産業における就業者数の推移

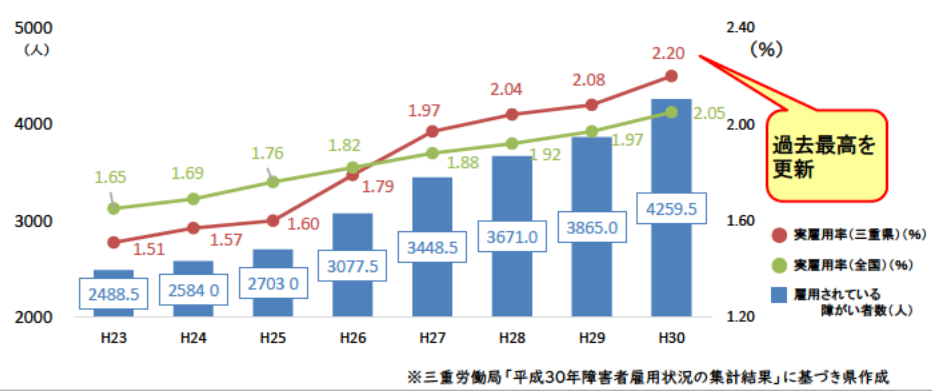


① 県および市町の施策を利用した県外からの移住者数

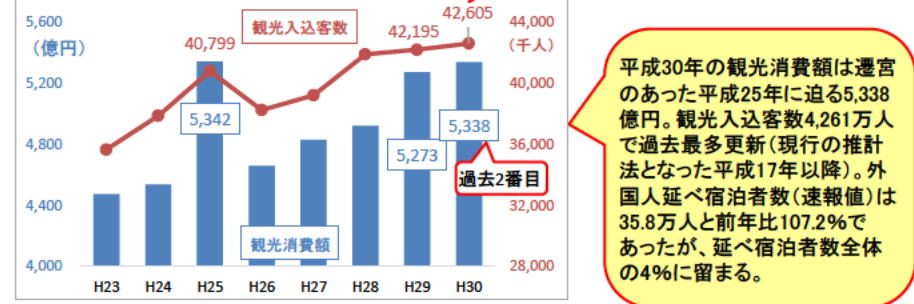


様々な働き方の拡大

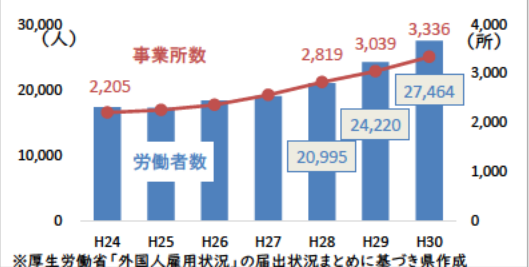
民間企業における障がい者雇用状況



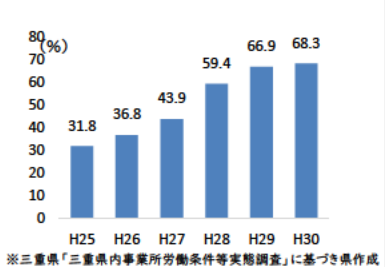
② 観光消費額と観光客入込客数



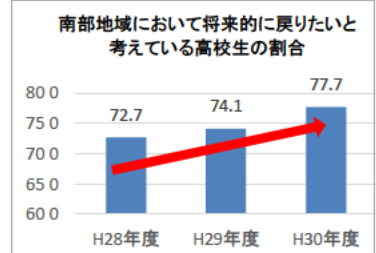
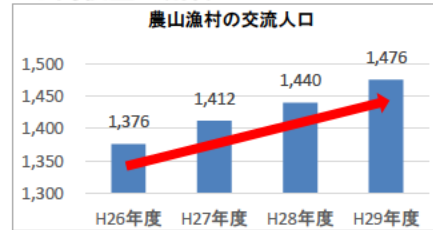
外国人労働者数、外国人雇用事業所数



WLBに取り組む県内中小企業の割合



③ 農山漁村の交流人口、南部地域において将来的に戻りたいと考えている高校生の割合

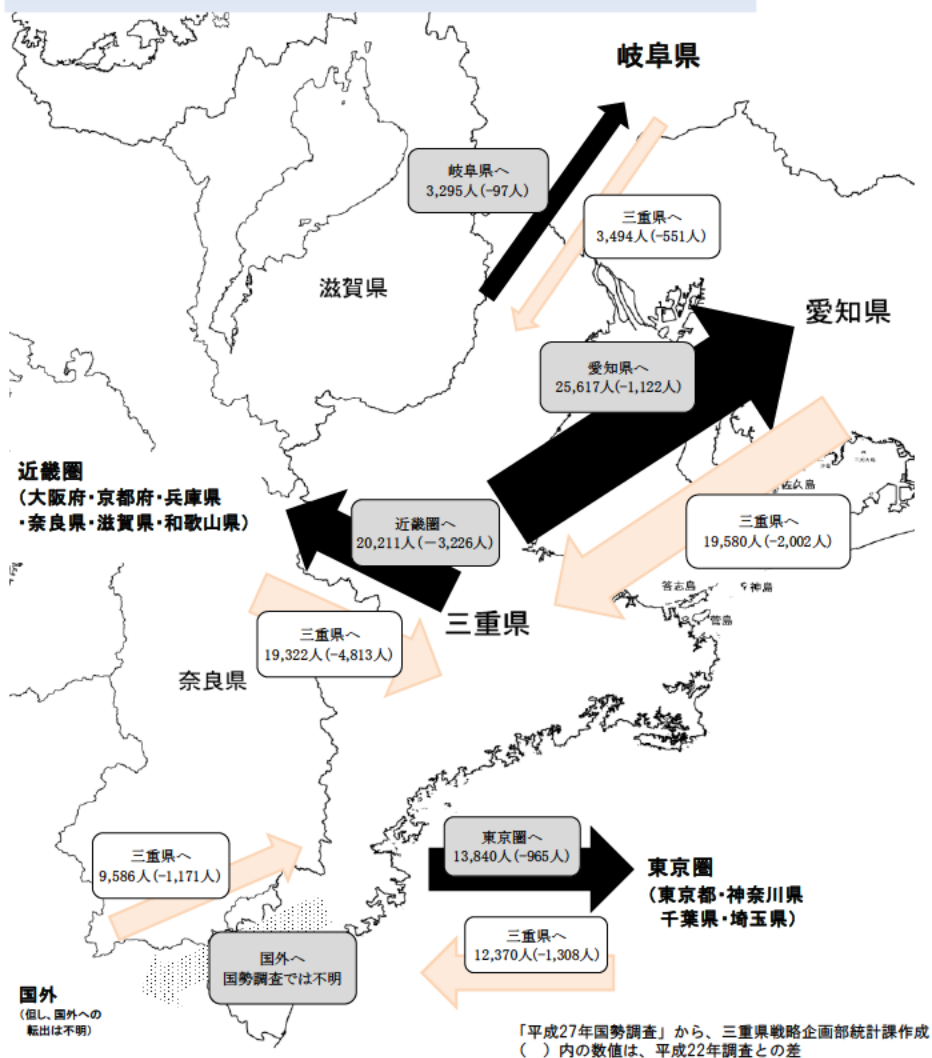


【参考】三重県における近隣県との人口移動及び通勤者の状況

三重県と近隣県、近畿圏、東京圏における転入者数、転出者数

平成27年国勢調査における「5年前の常住地調査」から人口移動の状況を見ると、転入者・転出者とも愛知県との間で最も多く、合計で6,037人の転出超過となっている。東京圏・近畿圏との間では、それぞれ1,470人、889人の転出超過となっている。

(単位:人)	愛知県	岐阜県	東京圏	近畿圏	国外
三重県へ(転入)	19,580	3,494	12,370	19,322	9,586
三重県から(転出)	25,617	3,295	13,840	20,211	-
転入-転出	△6,037	199	△1,470	△889	-



通勤者からみる県外との関係(通勤者数1,000人以上)

三重県内から近隣県県への通勤者数は、図内に示したとおり愛知県が最大となっている。

(単位:人)	愛知県	岐阜県	滋賀県	大阪府	奈良県	和歌山県	全体
三重県へ(流入)	14,373	3,603	1,600	1,731	4,066	1,268	31,066
三重県から(流出)	34,287	1,339	1,467	5,206	3,035	2,299	51,029
流入-流出	△19,914	2,264	133	△3,475	1,031	△1,031	△19,963

全体では、県外への通勤者(流出:51,029人)が、県内への通勤者(流入:31,066人)を19,963人上回っている。平成22年調査時との比較では、流出0.8%増、流入16.0%増と、流入の伸び率が上回っており、流出超過(23,848人→19,963人)は、約4,000人の減。特に大阪府、奈良県、和歌山県との関係では、流出が減少し、かつ流入が増加している。愛知県との関係では、流出の増(271人)に比べ流入の大幅増(1,687人)となっている。

